

一般質問



角館統合小学校建築工事について 汚泥再生処理施設の発注方法について

小林 幸悦

角館統合小学校建設工事について

質問

仙北市になり初めての大型物件である角館統合小学校建築を、大手ゼネコンの指名を外して、旧大曲、仙北郡内の業者に絞って指名したのは、評価できる。しかし、当初の説明では七月か八月には着工の予定であったと思う。現状からして十月でなければ工事にかかれない状況である。この工程からいけば真冬に躯体のコンクリート工事が施工される事になる。一、二月の工事を中止し、工期を延長しても最終工期には無理が生じないと思う。完成度を高めるためにも真冬の工事を中止し今年度施工分の工期延長はできないか。

今日（九月十三日）入札が行われたそうだが、入札結果はどうであったか。

市長

冬期間の工事は、さけられないと思う。落札業者と品質管理、現場管理について十分話し合いをしながら工事を進めていきたい。本日、九時より入札を行った。その結果は、瀧神工業、金谷工業、小松建設の三者で構成する地元JVが、十六億四千九百万円で落札した。

汚泥再生処理施設建設工事について

質問

基本設計の最優秀案が決まり、八月二十三日付で「日本技術開発（株）」と基本設計の契約締結したそうだが、十九年度からの、この工事は、実施設計、施工一括方式で発注するのか、できれば特殊技術、専門技術を要する処理プラント部分を別として、躯体部分、建物については地元業者でも対応できると思う。

躯体部分を分離発注する事はできないか。

市長

化学プラントであり、特殊な装置が必要とされる汚泥再生処理センターは環境省の指導もあり、設計、施工一括方式で発注したいと考えている。受注メーカーに対して、できるだけ地元業者の採用を要望して雇用の拡大につながるよう努める。

今後の発注方法について

角館統合小学校の工事は、建築の一括発注であったが、今後、発注方法を建築工事、土木工事、電気工事、設備工事などに分けた分離方式の考えはないか。また、旧二ツ井町で行った総合体育館

建設工事では、CM（コンストラクション・マネジメント）方式で工事内容を二十二行程に分離発注して二十五パーセントのコスト縮減ができたそうである。

今後の発注方法について、CM方式も含めて、市長の考えを伺いたい。

地元企業の育成を図るためにも入札に参加できる機会を与えるような方策を期待する。

市長

基本的に一括発注方式で行きたいと考えている。大きな理由としては、瑕疵責任の問題があり、トータル経費を考えた場合、責任の所在がはつきりする一括発注方式が良いと思う。CM方式については勉強不足でありこれから調査、研究していきたい。

営繕課を設置しては

質問

営繕課が置かれれば、市有施設の新築、増改築、修繕にかかる調査、計画、設計、管理業務などが主な業務になる。各工事に關する設計管理等はもちろん、各課の施設の維持管理の一本化、空き施設の再活用のための調査など営繕にかかわる業務が大幅に増えてくると思われる。施

設の適切な維持管理をし、計画的に整備をしていくことが大事である。営繕課の設置について市長の考えは、今後検討していくが、業務量によって必要かどうか判断したい。

岩瀬・北野線について

質問

この道路の中間である横町く小館間が手付かずである。この間が開通してこそ利便性が発揮されると思う。

今後、この間の工事をどうするのか。

市長

一番むずかしい工区であるが、小館く岩瀬工区完了後、地元住民と話し合いをして調査、事業化にむけて進めていきたいと考えている。



新築工事が始まった角館統合小学校